畠山　美幸 議員

マイタイムライン書式をホームページに掲載する考えは

答 掲載する方向で考えたい

マイタイムラインを作成してみよう

災害時の備えと避難所について

問 嵐山町では木造住宅耐震診断・耐震改修補助金制度が実施している。また、家具転倒防止器具取付費補助の進捗状況は。

答 まちづくり整備課長　平成21年度より木造住宅耐震診断・耐震改修の補助を行っている。実績は現在までない。家具転倒防止器具取付については、埼玉土建比企西部支部からのご提案で平成23年から無償で取付を行っている。転倒防止器具は町で用意している。実績は平成27年度に3件のみ。

再問 他の自治体では耐震シェルター補助がある。考えはあるか。

再答 まちづくり整備課長　要望がなく考えはない。

問 妊産婦・乳幼児救護所、障害のある人を受け入れる「福祉避難所」、ペットと一緒に避難する人にとって避難所の把握も大切。

答 地域支援課長　コロナ禍での避難所運営を可能にし、感染者等専用施設を含め11箇所開設。福祉避難所は町を通じて3箇所、妊産婦や障害者等の配慮が必要な方、授乳室やおむつ替え室など乳幼児利用スペースを設置予定である。また、ペットはアレルギー問題があり、ペット専用のスペースを設け対応する。

問 コロナ禍において各避難所に消毒液、マスク、パーテーションはどの程度用意してあるか。

答 地域支援課長　避難所備蓄として、消毒液500ml入り160本、1ℓ入り80本、マスク4000枚を準備。パーテーションは9月末時点32台、今後80台納品予定。これらを配分し各避難所に保管。

問 小中学校で災害に備えたマイタイムラインの作成を実施する考えはあるか。

答 教育委員会事務局長　コロナ禍により学校行事も中止や延期、変更が余儀なくされ、実施については今後検討する。

再問 他自治体同様にホームページにマイタイムラインフォーマット掲載の考えは。

再答 地域支援課長　掲載で考える。

嵐山町で用意してある避難用具

松本　美子 議員

正規職員を増やし安定と活性化を

答 今年度募集は受験資格を39歳までとした

明るい町づくりで生活の安定を

問 正規職員、会計年度任用職員採用の現状は。

答 参事兼総務課長　正規職員採用は退職等で不足人数を採用、会計年度任用職員採用は業務の多様化と増加を補填するために現在110人採用しています。

問 北部交流センターやすらぎの法面土砂くずれを早急に。

答 教育委員会事務局長　深谷、嵐山線に面した法面の長さ16m幅3mの範囲で亀裂と崩落が確認、緊急対策工事で大型土のう1トン袋を30m設置、植生マット工法で工事請負費を予算上程した。

高齢者の外出確保は

問 高齢者外出支援タクシー助成券、自主返納支援について利用者の声は。

答 長寿生きがい課長　平成30年4月のアンケートでは、希望は複数枚利用、料金の計算に時間がかかる等があった。

自主返納は運転に自信がない。技術の衰え、事故の不安等であった。

自主返納状況（R元年度）

自主返納　93件
経歴証明補助　64件
タクシー券助成65件

児童の学校生活は

問 コロナ禍による長期休業、夏休みも終わり児童の学業や仲間づくりの対応は。

答 教育長　3月から臨時休業、短縮の夏休み、感染防止のマスク着用、手洗いの励行等で明るく元気に学校生活を送っている。

小、中学校の運動会は保護者と午前中開催、修学旅行は実施予定。

高齢者を希望の生活へ

問 明るい地域社会で孤立、孤独死の防止の取り組みは。

答 長寿生きがい課長　地域包括支援センター、配食サービス、緊急通報、介護サービス利用、民生委員の訪問等を実施。

役場窓口業務の様子＝R2.10.29